LS-01　ランチョンセミナー01　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第01会場（大阪国際会議場5F 大ホール）

シャルコーに学ぶ：神経症候学と神経病理学の統合

座長：岩田　誠　メディカルクリニック柿の木坂

LS-01-1　シャルコーを読みたかった医学生達
望月　秀樹　大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学

LS-01-2　アルツハイマー病治療の進歩：臨床症状から疾患の進行抑制へ
岩坪　威　国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

共催：日本イーライリリー株式会社

LS-02　ランチョンセミナー02　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第03会場（大阪国際会議場10F 会議室1003）

専門医が挑む多発性硬化症診療におけるデジタルトランスフォーメーション

座長：磯部　紀子　九州大学大学院医学研究院

LS-02-1　多発性硬化症診療における専門医療の均てん化に向けた取り組み
千原　典夫　神戸大学大学院医学研究科内科学講座

LS-02-2　多発性硬化症診療におけるデジタルツールの可能性：医療標準化への挑戦
宮崎　雄生　国立病院機構北海道医療センター

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

LS-03　ランチョンセミナー03　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第04会場（大阪国際会議場10F 会議室1001-1002）

レボドパ持続皮下注療法の最前線

座長：武田　篤　独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院 脳神経内科

LS-03-1　西川　典子　順天堂大学大学院医学研究科 神経学

共催：アッヴィ合同会社

LS-04　ランチョンセミナー04　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第05会場（大阪国際会議場10F 会議室1009）

古くて新しい脳卒中後てんかん

座長：猪原　匡史　国立循環器病研究センター

LS-04-1　吉村　元　神戸市立医療センター中央市民病院

共催：第一三共株式会社／ユーシービージャパン株式会社

LS-05　ランチョンセミナー05　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第06会場（大阪国際会議場10F 会議室1008）

全身性疾患としてのSMAを考える

座長：橋口　昭大　独立行政法人　国立病院機構沖縄病院　脳神経内科

LS-05-1　SMN欠乏病態の理解向上
佐橋健太郎　名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学

LS-05-2　全身性疾患としてのSMAの治療戦略
橋口　昭大　独立行政法人　国立病院機構沖縄病院　脳神経内科

共催：中外製薬株式会社

LS-06　ランチョンセミナー06　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第07会場（大阪国際会議場12F 特別会議場）

SOD1-ALSの診断と治療：up to date～治療機会を見逃さないために～

座長：和泉　唯信　徳島大学大学院医歯薬学研究部　臨床神経科学分野

LS-06-1　核酸治療が変えたALS診療の流れ～SOD1-ALSを見逃さないために～
漆谷　　真　滋賀医科大学 内科学講座 脳神経内科

LS-06-2　SOD1 - ALSの自然経過とトフェルセンによる治療の可能性
長野　清一　大阪大学大学院連合小児発達学研究科　神経発達・変性疾患共同研究講座

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社

LS-07　ランチョンセミナー07　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第09会場（大阪国際会議場12F 会議室1202）

改めて考えるgMG治療の課題

座長：今井　富裕　国立病院機構 箱根病院 神経筋・難病医療センター

LS-07-1　鈴木　重明　東京都立神経病院　脳神経内科

共催：ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

LS-08　ランチョンセミナー08　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第10会場（大阪国際会議場11F 会議室1101-1102）

レボドパ薬物動態最適化のための経口抗パーキンソン病薬投与設計の重要性

座長：飯嶋　　睦　東京女子医科大学 脳神経内科 教授

LS-08-1　永井　将弘　愛媛大学医学部附属病院 臨床薬理神経内科 特任教授

共催：小野薬品工業株式会社

LS-09　ランチョンセミナー09　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第11会場（大阪国際会議場8F 会議室801-802）

片頭痛治療のこれからを考える

座長：今井　昇　静岡赤十字病院　脳神経内科 頭痛センター

~~LS-09-1~~　~~臨床試験とリアルワールドデータから見えてきたCGRPモノクローナル抗体による治療戦略~~
~~鈴木　紫布　獨協医科大学 脳神経内科~~

演題取り下げ

LS-09-2　片頭痛Pain×non-Painこれからの考え方
～合併症も含めたトータルケアについて～
團野　大介　社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内科 頭痛センター

共催：大塚製薬株式会社

LS-10　ランチョンセミナー10　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第12会場（大阪国際会議場7F 会議室701-702）

パーキンソン病患者の慢性便秘症治療戦略～IBAT阻害剤を中心に～

座長：長谷川隆文　独立行政法人国立病院機構　仙台西多賀病院

LS-10-1　中島　淳　横浜市立大学

共催：EAファーマ株式会社／持田製薬株式会社

LS-11　ランチョンセミナー11　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第13会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間①）

最先端のアミロイド研究に基づくAβ抗体療法の意義

座長：勝野　雅央　名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学

LS-11-1　小野賢二郎　金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学

共催：エーザイ株式会社メディカル本部／バイオジェン・ジャパン株式会社メディカル本部

LS-12　ランチョンセミナー12　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第14会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間②）

視神経脊髄炎スペクトラム障害とB細胞療法の関係について

座長：篠田　紘司　九州大学大学院医学研究院神経内科学
櫻井　謙三　聖マリアンナ医科大学脳神経内科

LS-12-1　分子標的薬が描くNMOSD患者の未来地図
櫻井　謙三　聖マリアンナ医科大学脳神経内科

LS-12-2　NMOSDに対するB細胞標的治療　作用機序に関する最新の話題
篠田　紘司　九州大学大学院医学研究院神経内科学

共催：田辺三菱製薬株式会社

LS-13　ランチョンセミナー13　Jp

5月21日（水）12：05～13：05　第15会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間③）

CIDPの病態から紐解き考える治療戦略

座長：小池　春樹　佐賀大学医学部 内科学講座 脳神経内科

LS-13-1　CIDPのエビデンス：これまでとこれから
三澤　園子　~~千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学~~　東京科学大学大学院 脳神経病態学分野

LS-13-2　血液神経関門から考えるCIDPの病態と治療戦略
竹下　幸男　山口大学医学部 神経・筋難病治療学講座／血液脳神経関門先進病態創薬研究講座

共催：CSLベーリング株式会社

LS-14　ランチョンセミナー14　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第01会場（大阪国際会議場5F 大ホール）

緒方洪庵の志を紡ぐ　～MGとNMOSDの補体標的治療の新たな歴史～

座長：高橋　正紀　大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 臨床神経生理学
中原　仁　慶應義塾大学医学部　神経内科
奥野　龍禎　大阪大学大学院医学系研究科 神経内科

LS-14-1　NMOSD: ComplementopathyとPrecision Medicine
中原　仁　慶應義塾大学医学部 神経内科

LS-14-2　MG治療の変遷と新しい治療法
高橋　正紀　大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 臨床神経生理学

LS-14-3　蘭医学者・緒方洪庵
海堂　尊　作家、医学博士、福井県立大学 客員教授

共催：アレクシオンファーマ合同会社

LS-15　ランチョンセミナー15　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第03会場（大阪国際会議場10F 会議室1003）

抗アミロイドβ抗体治療のMeaningful Benefitを考える

座長：小野賢二郎　金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学

LS-15-1　猪原　匡史　国立循環器病研究センター 脳神経内科

共催：日本イーライリリー株式会社

LS-16　ランチョンセミナー16　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第04会場（大阪国際会議場10F 会議室1001-1002）

CIDP薬物療法の新たな展開

座長：桑原　聡　千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学

LS-16-1　海田　賢一　埼玉医科大学総合医療センター 脳神経内科

LS-16-2　桑原　基　近畿大学医学部 脳神経内科

共催：アルジェニクスジャパン株式会社

LS-17　ランチョンセミナー17　En

5月22日（木）12：00～13：00　第05会場（大阪国際会議場10F 会議室1009）

Early Recognition and Device-Aided Therapy: The New Wave in Parkinson's Treatment

座長：花島　律子　鳥取大学医学部 脳神経医科学講座脳神経内科学分野

LS-17-1　Angelo Antonini
Parkinson and Movement Disorders Unit ERN-Rare Neurological Diseases Study Centre for Neurodegeneration（CESNE）Department of Neuroscience, University of Padua, Italy

共催：アッヴィ合同会社

LS-18　ランチョンセミナー18　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第06会場（大阪国際会議場10F 会議室1008）

脊髄性筋萎縮症の治療および評価の展望

座長：髙嶋　博　鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経内科･老年病学

LS-18-1　髙橋　慶太　横浜市立大学大学院 医学研究科 神経内科学・脳卒中医学

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社

LS-19　ランチョンセミナー19　En

5月22日（木）12：00～13：00　第07会場（大阪国際会議場12F 特別会議場）

New Insights into Ofatumumab and Its Impact on MS Treatment

座長：荻野美恵子　国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター

LS-19-1　New Insights into Ofatumumab and Its Impact on MS Treatment
Heinz Wiendl
Freiburg University Hospital, Germany

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

LS-20　ランチョンセミナー20　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第08会場（大阪国際会議場12F グラントック）

抗アミロイドβ抗体薬の治療前後におけるアミロイドPETの役割

座長：古和　久朋　神戸大学大学院 保健学研究科

LS-20-1　石井　賢二　東京都健康長寿医療センター研究所 認知症未来社会創造センター

LS-20-2　松田　博史　日本医科大学健診医療センター　治験・臨床研究推進室

共催：PDRファーマ株式会社／日本脳神経核医学研究会／日本核医学会

LS-21　ランチョンセミナー21　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第09会場（大阪国際会議場12F 会議室1202）

仮想現実技術を用いた体性認知協調療法が脳神経疾患治療に与える衝撃

座長：田中　智貴　国立研究開発法人国立循環器病研究センター

LS-21-1　原　正彦　島根大学 地域包括ケア教育研究センター

共催：株式会社mediVR

LS-22　ランチョンセミナー22　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第10会場（大阪国際会議場11F 会議室1101-1102）

重症筋無力症の基本と診療Up To Date

座長：越智　博文　愛媛大学大学院医学系研究科　難病・高齢医療学

LS-22-1　渡邉　充　九州大学病院 脳神経内科

共催：田辺三菱製薬株式会社　開発・メディカル本部メディカルアフェアーズ部

LS-23　ランチョンセミナー23　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第11会場（大阪国際会議場8F 会議室801-802）

トランスサイレチン型アミロイドーシスについて

座長：安東由喜雄　医療法人杉村会 杉村病院 総長 アミロイドーシス診療研究サポートセンター長

LS-23-1　心アミロイドーシス早期診断の重要性と実践的キーポイント
世良　英子　大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 助教

LS-23-2　遺伝性ATTRアミロイドーシスにおける診療の現状と課題
植田　光晴　熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経内科学 教授

共催：ファイザー株式会社

LS-24　ランチョンセミナー24　En

5月22日（木）12：00～13：00　第12会場（大阪国際会議場7F 会議室701-702）

アルツハイマー病（AD）バイオマーカーの適正使用と将来展望

座長：池田　学　大阪大学大学院医学系研究科　精神医学教室

LS-24-1　Tobias Bittner
F.Hoffmann-LaRoche, Switzerland ／ Genentech, USA

LS-24-2　池内　健　新潟大学脳研究所 生命科学リソース研究センター

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

LS-25　ランチョンセミナー25　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第13会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間①）

gMG分子標的薬：在宅自己投与で広がる多様な選択肢（C5阻害薬「ジルビスク®」・抗FcRn製剤「リスティーゴ®」）

座長：鈴木　重明　都立神経病院 脳神経内科

LS-25-1　長根百合子　総合花巻病院 脳神経内科

LS-25-2　村井　弘之　国際医療福祉大学医学部 脳神経内科学

共催：ユーシービージャパン株式会社

LS-26　ランチョンセミナー26　Jp

5月22日（木）12：00～13：00　第14会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間②）

筋萎縮性側索硬化症（ALS）の薬物治療

座長：青木　正志　東北大学大学院医学系研究科　神経内科学分野　教授

LS-26-1　ALS新規治療薬の高用量メチルコバラミン（ロゼバラミン）開発の経緯
～さらに重要になる早期診断～
和泉　唯信　徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学分野 教授

共催：エーザイ株式会社

LS-27　ランチョンセミナー27　En

5月22日（木）12：00～13：00　第15会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間③）

FUS and Movement Disorders

座長：髙橋　良輔　京都大学学術研究展開センター（KURA）

LS-27-1　FUS and Movement Disorders ~Essential Tremor and Parkinson's Disease, presented in an easy-to-understand manner~
José A. Obeso
The University of Navarra Clinic, Spain

共催：InSightec Japan株式会社

LS-28　ランチョンセミナー28　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第01会場（大阪国際会議場5F 大ホール）

睡眠の謎に挑む～原理の追求から社会実装まで～

座長：望月　秀樹　大阪大学大学院医学系研究科　神経内科学　教授

LS-28-1　柳沢　正史　筑波大学 国際統合睡眠医科学研究研究機構 機構長

共催：塩野義製薬株式会社

LS-29　ランチョンセミナー29　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第03会場（大阪国際会議場10F 会議室1003）

てんかん治療のUp-To-Date ～治療のポイントから新規抗てんかん発作薬の使い方まで～

座長：赤松　直樹　国際医療福祉大学 医学部 脳神経内科学／国際医療福祉大学成田病院 脳神経内科

LS-29-1　若手医師必見～てんかん治療のノウハウとエッセンス～
上原　平　国際医療福祉大学 医学部 脳神経内科学／福岡山王病院 てんかん・すいみんセンター

LS-29-2　レベチラセタムとブリーバラセタム何が異なる～特性とその経験～
下竹　昭寛　国立病院機構宇多野病院 脳神経内科・臨床研究部

共催：ユーシービージャパン株式会社

LS-30　ランチョンセミナー30　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第04会場（大阪国際会議場10F 会議室1001-1002）

全身型重症筋無力症の薬物治療アップデート

座長：槍沢　公明　総合花巻病院　脳神経内科

LS-30-1　熊本大学病院におけるヒフデュラ導入経験～地域での連携事例も踏まえて～
野村　隼也　熊本大学病院 脳神経内科

LS-30-2　エフガルチギモドのサイクル投与最適化の検討～症状変動の抑制を目指して～
岡田　和将　産業医科大学病院　脳神経内科

共催：アルジェニクスジャパン株式会社

LS-31　ランチョンセミナー31　En

5月23日（金）12：00～13：00　第05会場（大阪国際会議場10F 会議室1009）

最新の片頭痛治療の動向

座長：竹島多賀夫　社会医療法人寿会　富永病院

LS-31-1　Current migraine Treatment: times have changed!
Stewart J. Tepper
The New England Institute for Neurology and Headache Stamford, CT, USA

共催：日本イーライリリー株式会社／第一三共株式会社

LS-32　ランチョンセミナー32　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第06会場（大阪国際会議場10F 会議室1008）

進行期パーキンソン病

座長：渡辺　宏久　藤田医科大学 医学部 脳神経内科学教室

LS-32-1　症例から学ぶ －パーキンソン病診療のピットフォール
長谷川隆文　国立病院機構仙台西多賀病院 臨床研究部／脳神経内科

共催：協和キリン株式会社　メディカルアフェアーズ部

LS-33　ランチョンセミナー33　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第07会場（大阪国際会議場12F 特別会議場）

エビデンスに基づく抗CD20抗体療法の重要性

座長：池口亮太郎　東京女子医科大学
木下　允　大阪大学大学院医学系研究科

LS-33-1　Early High Efficacy TherapyとShared Decision Making
富沢　雄二　順天堂大学

LS-33-2　オファツムマブ使用535例の日本人リアルワールドデータ
齋田　孝彦　関西多発性硬化症センター／入野医院・京都民医連中央病院

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

LS-34　ランチョンセミナー34　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第08会場（大阪国際会議場12F グラントック）

DATにおける患者コミュニケーション

座長：藤本　健一　自治医大ステーション・ブレインクリニック

LS-34-1　DAT導入時におけるコミュニケーションを考える
松浦　慶太　三重大学医学部附属病院 認知症センター

LS-34-2　ヴィアレブの導入・継続における患者コミュニケーションのポイント
織茂　智之　上用賀世田谷通りクリニック

共催：アッヴィ合同会社

LS-35　ランチョンセミナー35　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第09会場（大阪国際会議場12F 会議室1202）

生活習慣病とアルツハイマー病の関係と予防介入について

座長：岩田　淳　東京都健康長寿医療センター 副院長

LS-35-1　古和　久朋　神戸大学大学院保健学研究科 教授

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 開発本部 メディカルアフェアーズ部

LS-36　ランチョンセミナー36　Jp・En

5月23日（金）12：00～13：00　第10会場（大阪国際会議場11F 会議室1101-1102）

感染症がおよぼす健康への影響

座長：山田　正仁　国家公務員共済組合連合会九段坂病院

LS-36-1　成人中枢神経疾患におけるVZV再活性化の役割
吉川　哲史　藤田医科大学 小児科学

LS-36-2　Role of VZV reactivation and what do we expect in the future
Maria Nagel
University of Colorado Anschutz Medical Campus, USA

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

LS-37　ランチョンセミナー37　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第11会場（大阪国際会議場8F 会議室801-802）

MAO-B阻害剤、単独でいく？それともレボドパと組み合わせる？

座長：狭間　敬憲　独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター 脳神経内科

LS-37-1　レボドパ併用の視点から
前田　哲也　岩手医科大学 医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野

LS-37-2　MAOBI単独の視点から
永山　寛　NTT東日本 関東病院 脳神経内科

共催：エフピー株式会社

LS-38　ランチョンセミナー38　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第12会場（大阪国際会議場7F 会議室701-702）

先天代謝異常症をみつけてみよう

座長：矢部　一郎　北海道大学 大学院医学研究院 神経病態学分野神経内科学教室

LS-38-1　窪田　満　国立成育医療研究センター総合診療部

共催：株式会社オーファンパシフィック

LS-39　ランチョンセミナー39　En

5月23日（金）12：00～13：00　第13会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間①）

NMOSDにおける長期予後を考えたIL-6阻害の意義

座長：河内　泉　新潟大学 大学院医歯学総合研究科 医学教育センター／新潟大学 脳研究所・医歯学総合病院 脳神経内科

LS-39-1　The immunology of NMOSD

Sarosh R. Irani

Department of Neurology, Mayo Clinic, Jacksonville, Florida, USA

LS-39-2　How Satralizumab changed treatment strategy in NMOSD - Real World Evidence from Japan -

藤原　一男　福島県立医科大学医学部 多発性硬化症治療学講座／一般財団法人脳神経疾患研究所 多発性硬化症・視神経脊髄炎センター

共催：中外製薬株式会社

LS-40　ランチョンセミナー40　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第14会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間②）

アルツハイマー病

座長：池田　佳生　群馬大学大学院医学系研究科　脳神経内科学　教授

LS-40-1　抗Aβ抗体レケンビの安全性マネジメントについて～実臨床における治療経験を踏まえて～

新堂　晃大　三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学 教授

共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社

LS-41　ランチョンセミナー41　Jp

5月23日（金）12：00～13：00　第15会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間③）

ALS（筋萎縮性側索硬化症）の早期診断

座長：梶　龍兒　徳島大学　研究支援・産官学連携センター

LS-41-1　ALSの早期診断：臨床徴候と電気生理から

園生　雅弘　帝京大学医療技術学部

共催：田辺三菱製薬株式会社

LS-42　ランチョンセミナー42　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第01会場（大阪国際会議場5F 大ホール）

アルツハイマー病

座長：池内　健　新潟大学　脳研究所 生命科学リソース研究センター　教授

LS-42-1　レケンビ治療の実態、今後の展開～リアルワールドにおける経験も踏まえて～
清水聰一郎　東京医科大学 高齢総合医学分野 主任教授

LS-42-2　抗Aβ抗体薬は認知症診療をどう変えるのか～地域医療の未来を考える
池田　学　大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授

共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社

LS-43　ランチョンセミナー43　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第03会場（大阪国際会議場10F 会議室1003）

アルツハイマー型認知症に伴うBPSD（行動・心理症状）

座長：冨本　秀和　済生会明和病院 院長

LS-43-1　認知症の行動・心理症状に挑む
～医療と介護の視点から考える効果的アプローチ～
和田　健二　川崎医科大学 認知症学 教授

共催：大塚製薬株式会社

LS-44　ランチョンセミナー44　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第04会場（大阪国際会議場10F 会議室1001-1002）

脳炎症状を呈する自己免疫性疾患（AE/MOGAD）早期診断のための抗体検査up date

座長：藤原　一男　福島県立医科大学 医学部 多発性硬化症治療学講座

LS-44-1　自己免疫性脳炎 －早期診断のための抗体検査活用法－
原　誠　日本大学医学部 内科学系神経内科学分野

LS-44-2　MOG抗体はいつ・どのように検査すべきか?
髙井　良樹　東北大学病院 病理部／東北大学医学部 神経内科学分野

共催：株式会社コスミックコーポレーション

LS-45　ランチョンセミナー45　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第05会場（大阪国際会議場10F 会議室1009）

パーキンソン病におけるL-ドパの影響とメカニズム再考：オンジェンティスの役割を含めて

座長：前田　哲也　岩手医科大学医学部 内科学講座 脳神経内科・老年科分野 教授

LS-45-1　渡辺　宏久　藤田医科大学医学部 脳神経内科学 主任教授

共催：小野薬品工業株式会社

LS-46　ランチョンセミナー46　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第06会場（大阪国際会議場10F 会議室1008）

神経内科領域における疾病負荷の管理

座長：柴田　護　東京歯科大学市川総合病院 神経内科

LS-46-1　片頭痛の疾病負担を理解するために何ができるか
五十嵐久佳　富士通クリニック 内科

LS-46-2　パーキンソン病における疾病負荷を考慮した治療戦略
濱田　征宏　和泉市立総合医療センター 脳神経内科

共催：アッヴィ合同会社

LS-47　ランチョンセミナー47　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第07会場（大阪国際会議場12F 特別会議場）

MSの進行抑制と治療最適化の重要性

座長：藤盛　寿一　東北医科薬科大学医学部
近藤　誉之　関西医科大学総合医療センター

LS-47-1　MSの進行を見逃さないための画像診断技術
萩原　彰文　順天堂大学医学部附属順天堂医院

LS-47-2　MS治療最適化のための進行の包括的評価の重要性
新野　正明　国立病院機構北海道医療センター

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

LS-48　ランチョンセミナー48　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第08会場（大阪国際会議場12F グラントック）

ダニ媒介性脳炎

座長：中嶋　秀人　日本大学医学部 内科学系神経内科学分野　主任教授

LS-48-1　矢部　一郎　北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野 神経内科学教室 教授

共催：ファイザー株式会社

LS-49　ランチョンセミナー49　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第09会場（大阪国際会議場12F 会議室1202）

画像診断は神経変性疾患克服への道程を描けるか？

座長：島田　斉　新潟大学脳研究所

LS-49-1　神経変性疾患の次世代治療に向けた超早期診断・進行指標画像バイオマーカー開発

川畑　和也　藤田医科大学病院

LS-49-2　変性性認知症の臨床診断におけるconventional MRIの役割
- CPCとPET実施例からの考察 -

櫻井　圭太　国立長寿医療研究センター

共催：株式会社Splink

LS-50　ランチョンセミナー50　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第10会場（大阪国際会議場11F 会議室1101-1102）

長期予後を見据えたEGPA治療とメポリズマブの位置づけ

座長：三澤　園子　~~千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学 准教授~~ 東京科学大学大学院 脳神経病態学分野 教授

LS-50-1　EGPAの神経障害について考える～EGPAに対するメポリズマブへの期待～

横江　勝　市立豊中病院 脳神経内科 部長

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

LS-51　ランチョンセミナー51　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第11会場（大阪国際会議場8F 会議室801-802）

頭痛・めまい

座長：西山　和利　北里大学医学部　脳神経内科学　主任教授

LS-51-1　脳神経内科医による頭痛・めまいの漢方治療

中江　啓晴　済生会横浜市南部病院 脳神経内科　主任部長

共催：株式会社ツムラ

LS-52　ランチョンセミナー52　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第12会場（大阪国際会議場7F 会議室701-702）

アミロイドPETの有用性

座長：松本　理器　京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 臨床神経学 教授

LS-52-1　アルツハイマー病新時代における脳SPECT, PETの役割

田中　智貴　国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長

共催：日本メジフィジックス株式会社

LS-53　ランチョンセミナー53　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第13会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間①）

補体と神経免疫疾患ーなぜ今補体制御が必要なのか？ー

座長：村井　弘之　国際医療福祉大学医学部 脳神経内科学
中島　一郎　東北医科薬科大学医学部　脳神経内科学

LS-53-1　MG症状の波を起こさない治療を考える-補体制御の必要性-
鵜沢　顕之　千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学

LS-53-2　補体から迫るNMOSDの病態
西山　修平　東北大学病院 脳神経内科

共催：アレクシオンファーマ合同会社

LS-54　ランチョンセミナー54　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第14会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間②）

人生100年時代におけるパーキンソン病診療

座長：波田野　琢　順天堂大学医学部 神経学講座

LS-54-1　PD患者健康寿命延伸へ向けて
市川　忠　埼玉県総合リハビリテーションセンター

LS-54-2　エビデンスが少ないにも関わらず大多数を占める高齢パーキンソン病をどう診療するか?
武田　篤　独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院

共催：武田薬品工業株式会社

LS-55　ランチョンセミナー55　Jp

5月24日（土）12：15～13：15　第15会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間③）

多発性硬化症治療の現在地～治療GOALの再考～

座長：深澤　俊行　さっぽろ神経内科病院

LS-55-1　MS治療の進歩～現在の治療ゴールとは～
野原千洋子　東京都立荏原病院

LS-55-2　ライフイベントを踏まえたMS治療～Update～
清水　優子　東京女子医科大学病院

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社

ES-01　イブニングセミナー01　Jp・En

5月22日（木）19：00～20：30　第03会場（大阪国際会議場10F 会議室1003）

新しい認知症診療時代の医師/患者/家族コミュニケーション

座長：岩坪　威　国立精神・神経医療研究センター 神経研究所
Wiesje van der Flier　Alzheimer center Amsterdam, Netherlands

ES-01-1　患者・家族にとっての抗 Aβ 抗体薬の価値とは？
岩田　淳　東京都健康長寿医療センター 脳神経内科

ES-01-2　EBMからSDMへ：これからの認知症診療への期待
中山　健夫　京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野

パネルディスカッション　岩坪　威　国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

En　Wiesje van der Flier
Alzheimer center Amsterdam, Netherlands

岩田　淳　東京都健康長寿医療センター 脳神経内科

中山　健夫　京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野

共催：日本イーライリリー株式会社

ES-02　イブニングセミナー02　Jp

5月22日（木）19：00～20：00　第04会場（大阪国際会議場10F 会議室1001-1002）

「この重積、挿管する？」に迷わないために

座長：神　一敬　東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

ES-02-1　音成秀一郎　広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学てんかんセンター

共催：アルフレッサ ファーマ株式会社

ES-03　イブニングセミナー03　Jp

5月22日（木）19：00～20：00　第05会場（大阪国際会議場10F 会議室1009）

進行期パーキンソン病の薬物治療

座長：冨山　誠彦　弘前大学大学院医学研究科　脳神経内科学講座

ES-03-1　波田野　琢　順天堂大学 脳神経内科

共催：エーザイ株式会社

ES-04　イブニングセミナー04　Jp

5月22日（木）19：00～20：00　第06会場（大阪国際会議場10F 会議室1008）

ランバート・イートン筋無力症候群の最新知見　～私のこれからの治療戦略～

座長：本村　政勝　長崎総合科学大学工学部工学科医療工学コース

ES-04-1　長沼　亮滋　社会医療法人　柏葉会　脳神経内科かしわば病院

共催：ダイドーファーマ株式会社

ES-05　イブニングセミナー05　En

5月22日（木）19：00～20：00　第07会場（大阪国際会議場12F 特別会議場）

重症筋無力症の治療目標：多様化する治療選択肢と揺るがない原則 ～変わらないこと、変えていくこと～

座長：中根　俊成　国立大学法人富山大学　学術研究部医学系　脳神経内科
　　蕨　　陽子　地方独立行政法人東京都立病院機構　東京都立神経病院　脳神経内科

ES-05-1　重症筋無力症の「治療目標」における基本原則の再確認
Pushpa Narayanaswami
Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School, Boston, Massachusetts, USA

ES-05-2　個別化された「治療目標」設定の重要性とアプローチの提言
Chongbo Zhao
Huashan Rare Disease Center and Department of Neurology, Huashan Hospital, Shanghai Medical College, National Center for Neurological Disorders, Fudan University, Shanghai, China

共催：ユーシービージャパン株式会社

ES-06　イブニングセミナー06　Jp

5月22日（木）19：00～20：30　第08会場（大阪国際会議場12F グラントック）

認知症診療における体液バイオマーカーの現状と展望 -血液バイオマーカーへの期待-

座長：田中　稔久　大阪けいさつ病院　認知症センター　センター長

ES-06-1　大阪けいさつ病院における認知症診療への取り組み
澤　　芳樹　大阪けいさつ病院 院長

ES-06-2　疾患修飾療法時代を迎えた認知症疾患診療における血液バイオマーカーの現状と展望
徳田　隆彦　大阪公立大学 病因診断学講座 特任教授

共催：富士レビオ株式会社／H.U. フロンティア株式会社

ES-07　イブニングセミナー07　Jp

5月22日（木）19：00～20：00　第09会場（大阪国際会議場12F 会議室1202）

高齢者トータルケアにおけるフレイルとその予防・治療対策 ～亜鉛補充の意義を含めて～

座長：永山　　寛　NTT東日本関東病院脳神経内科

ES-07-1　小川　純人　東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座老年病学

共催：ノーベルファーマ株式会社／株式会社メディパルホールディングス

ES-08　イブニングセミナー08　Jp

5月22日（木）19：00～20：00　第10会場（大阪国際会議場11F 会議室1101-1102）

脳卒中予防のための抗凝固療法～リアルワールドデータを読み解く～

座長：藤本　茂　自治医科大学　内科学講座神経内科学部門

ES-08-1　心原性脳塞栓症：リスク管理と適切な抗凝固療法
佐藤　健朗　独立行政法人 国立病院機構 鹿児島医療センター 脳・血管内科

ES-08-2　最新画像診断技術の脳卒中診療への活用
河野　浩之　杏林大学医学部 脳卒中医学教室

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／ファイザー株式会社

ES-09　イブニングセミナー09　Jp

5月22日（木）19：00～20：00　第11会場（大阪国際会議場8F 会議室801-802）

神経疾患に対するHALの効果と活用法

座長：齊藤　利雄　国立病院機構大阪刀根山医療センター

ES-09-1　山口　啓二　社会医療法人杏嶺会　一宮西病院 副院長 兼 脳神経内科部長

共催：CYBERDYNE株式会社

ES-10　イブニングセミナー10　Jp

5月22日（木）19：00～20：00　第12会場（大阪国際会議場7F 会議室701-702）

パーキンソン病の諸問題を考える～早期治療意義について～

座長：荒若　繁樹　大阪医科薬科大学　内科学IV教室　脳神経内科　教授

ES-10-1　包括的治療の側面から
馬場　孝輔　大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学 特任教授

ES-10-2　嚥下障害の側面から
平野　牧人　近畿大学医学部 脳神経内科 臨床教授

共催：武田薬品工業株式会社

ES-11　イブニングセミナー11　Jp

5月22日（木）19：00～20：30　第13会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間①）

早期アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体治療の適切な進め方

座長：下畑　享良　岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野

ES-11-1　井原　涼子　東京都健康長寿医療センター 脳神経内科

共催：日本イーライリリー株式会社

ES-12　イブニングセミナー12　Jp

5月22日（木）19：00～20：00　第14会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間②）

ATTRvアミロイドーシス診療の道標
～ガイドライン改訂を踏まえた最新の診断と治療のアプローチ～

座長：植田　光晴　熊本大学大学院生命科学研究部　脳神経内科学　教授

ES-12-1　関島　良樹　信州大学医学部 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科　教授

共催：Alnylam Japan株式会社

ES-13　イブニングセミナー13　Jp

5月22日（木）19：00～20：00　第15会場（リーガロイヤルホテル大阪3F 光琳の間③）

パーキンソン病に対するデバイス補助療法（DAT）の適応と戦略

座長：白石　　眞　聖マリアンナ医科大学 脳神経内科学

ES-13-1　DATを検討すべき患者像
梶山　裕太　川崎医科大学 神経内科学教室

ES-13-2　DATの治療戦略
木村　活生　横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経内科

共催：アッヴィ合同会社

ES-14　イブニングセミナー14　En

5月22日（木）19：00～20：00　第01会場（大阪国際会議場5F 大ホール）

多発性硬化症：遺伝学からの洞察

座長：松下　拓也　高知大学医学部脳神経内科学講座

ES-14-1　Stephen Sawcer
University of Cambridge, Department of Clinical Neuroscience, UK

共催：KOTAIバイオテクノロジーズ株式会社